



令和7年度酒匂小学校 学校だより

さかわ

令和7年10月10日
校長室

前期終業式

1964年（昭和39年）10月10日、東京オリンピックの開会式が行われたことを記念し、10月10日は「体育の日」として国民の祝日となりました。現在は、10月第2月曜日を「スポーツの日」として変更され、体育からスポーツへと移行し、心身を鍛えるという教育的要素から運動そのものを楽しむ要素へと時代とともに目的が変遷していることが感じられます。

さて、今週、世界で最も権威のある賞といわれる「ノーベル賞」に、日本人が2人受賞するというニュースが飛び込んできました。ノーベル賞は、人類において多大なる貢献をした個人または団体に贈られるものとされています。本日の終業式において、ノーベル賞を受賞した方のインタビューなどで紹介された言葉を引用して次のことを話しました。

これまで研究に取り組んでくる中で、どんなことを大切にしてきたかという問いに、

- 想像する力が大切であるということ
- 好きで好きで夢中になること（没頭して取り組むこと）
- 発見の裏には、数えきれないほどの失敗があるということ

子供たちがこれから色々なことに挑戦していくうえで、とても参考になる大切なことのように思います。

<作品入選の紹介>

☆ 小田原市科学展 教育長賞 5年 山本優奈さん

『ことわざ「二階から目薬」本当にできるか実験してみた』

☆ 小田原市読書感想文コンクール 課題図書高学年の部1位 5年 久保寺瑛士さん

『ありのままの自分を大切に』～「ぼくの色、見つけた!」を読んで～
入選、おめでとうございます。

<前期の教育活動より>

食育の充実～栽培活動から給食の食材へ～

心身の健康のために大切な要素の1つが食事です。小学校では自分たちが育てた野菜を、給食の食材として活用し、美味しく食べるという取組を行い、食への意欲や関心を高めています。

4年下中たまねぎ栽培



2年夏野菜栽培(ナス)



また、栄養教諭による食育の授業も行っています。

